

- 1 日 時 令和2年2月19日(木) 15:00～16:10
- 2 場 所 福島市役所4階庁議室
- 3 出席者 佐藤 滋 委員長、本杉 省三 委員、㊦西田 奈保子 委員、門田 敦嗣 委員、
中村 芳朗 委員、三瓶 章 委員、後藤 忠久 委員、㊦吉田 秀政 委員、㊦大関 宏之 委
員、竹田 有理 委員、齋藤 美佐 委員、山崎 由美 委員、㊦小林 静香 委員
- 4 内 容
(1) 開会
(2) 議事
① 基本計画素案について
(3) その他
(4) 閉会
- 5 概 要 議事内容について事務局説明後、質疑応答、意見交換
- 6 委員の主な発言

○委員 p.26、リハーサル室では、小規模なコンサートや演劇などの公演等もできるのではないかと考えている。ぜひ活用できるようにしていただきたい。
また、バックヤードの荷捌スペースは、大ホール関係と展示関係の催事が重複する場合に、十分かどうか懸念されるので十分に検討してほしい。

○事務局 リハーサル室については、本施設のコンセプトも踏まえ、小規模なイベントの公演等も想定し、今後検討する。
また、本施設が上層階となることから、荷捌きスペースは重要と考えている。一方で、面積上の制約もあることから、今後、使いやすい施設となるよう、ご指摘いただいた点を可能な限り検討していきたい。

○委員 基本計画の修正案については、前回の意見が反映され、内容がより具体的になったと感じる。p.16、再開発ビル全体の断面図について、立体駐車場と再開発ビルの接続の考え方を教えてほしい。

○事務局 現在、再開発準備組合が建物全体の基本設計を進めているところだが、その中で、より効率の良い接続を検討していきたいと考えている。まだ決定したものではないが、現段階では、p.16断面イメージのように、商業機能と駐車場とを接続することを想定している。

○委員 施設運営の組織体制については非常に重要だが、今後、新たな委員会を立ち上げて検討していく予定か。

○事務局 新たな委員会を立ち上げるかどうかは未定であるが、その点も含めて、施設の管理運営については今後、検討を進めていく。複合ビルとして、民間施設や市民、商店街等のご意見も踏まえて検討していきたい。また、共用空間との連携も含めて考えたい。

○委員 p.32、ネットワークのイメージ図において、市民活動団体、地域活動団体、NPO等が明確に表現されていないが、「地域催事関係者(町内会等)」に含まれる解釈でよいか。「参加」ではなく「参画」という位置付けとなることが重要だと思うので、「市民」や「NPO」などの言葉を明記できるとよい。

- 事務局 ご指摘について検討する。
- 委員 p.32、ネットワークのイメージについて、それぞれの立場（利用者、運営者、サポート者等）が明確でなく、わかりにくいのではないかと。読んだ人がイメージしやすいようにまとめるほうがよい。
- p.32、「組織体制」について、管理運営に際しては、多数の民間組織が関わることになると思う。民間事業者においては、型にはまった管理をするのではなく、福島に来ていただけるように、積極的に営業促進をしてほしい。このような役割を、きちんと組み込んだ組織体制を構築してほしい。
- 事務局 ご指摘について検討する。
- 委員 p.31、「管理運営の基本方針」について、より市民の力で福島市を盛り上げられるよう、単に文化だけでなく、産業、教育、福祉といった、幅広い位置づけとして、文化条例（文化振興計画）を策定してはどうか。意見として申し上げる。
- 委員長 現在、文化振興計画はないとのことだが、施設設置条例の制定において議論できるか。
- 事務局 施設設置条例は制定する。設置目的等を整理する際に参考とさせていただきたい。
- 委員 p.16-17、共用空間の修正や各エリアの平面イメージについて若干修正されたが、p.22「動線の考え方」の文章が「計画します」「配慮します」という表現にとどまっており、もう少し踏み込んだ動線計画を提示することはできないか。
- 事務局 再開発準備組合と協議を進めているところではあるが、複合施設であり、まだ調整が必要な部分が多いため、現時点では、記載の表現にとどめさせていただきたい。
- 委員 p.31-32、管理運営の組織体制について、先ほど指摘があったように、管理に主体を置かれると利用時の制限を設ける等の規制が多くなる。より広範囲に、どのような役割を運営事業者が担えば、より効率的に施設を運営できるかという点を考えていく必要がある。管理と施設運営とが一体的にできる事業者が担うべきであり、例えばサウンディング等の実施により、民間事業者からアイデアを取り込んだうえで、公募を行うような形を検討するなど、民間の知恵やノウハウをどう取り込むか、最善の運営体制となるよう、検討してほしい。意見として申し上げる。
- 委員 再開発ビル内で本施設が上層階となるため、p.22「動線の考え方」の記述は重要である。多施設・多機能であることは、商業・公共の双方にとってよいことなので、アクセスのしやすさは、今後の建物全体の設計にも反映していったほしい。
- p.25、③c)「～壁は吸音性の高い仕上げとします。」とあるが、ホールとしては吸音性だけでは不十分なので、「吸音性と反射性のバランスが取れた仕上げとします」などと修正してほしい。また、③c)「～二重扉もしくはカーテン付きの扉」となっているが、一重扉とカーテンだけでは不十分なので、「二重扉とする」などと表現したほうがよい。
- p.32、「事業管理」「顧客管理」などのように「管理」という表現が目立つので、「事業計画」「顧客サービス」などの表現に修正するほうがよい。
- 事務局 ご指摘について、修正する。
- 委員 p.33、収入の考え方として、「市民が利用しやすい料金体系や料金設定」は、重要な部分なので、今後、細部まで考えて設定してほしい。

- 委員長 使用料については、条例で定めることとなるのか。
- 事務局 条例で定める部分と、施設運営者が定める部分があると想定される。
- 委員 p.12、「福島らしい景観」は市民にとって期待が大きいところだと思う。若い世代などから広い意見を募り、期待に応えるような景観形成に配慮してほしい。これまで実施されてきた駅前通りのレトロモダンの景観は、懐かしみがあり、古い建物も味わい深く感じるなど好評である。多世代の市民がよかったと思える景観にしてほしい。
- 委員 情報化推進の観点から、将来的な技術革新にも対応できるようにしてほしい。例えば、eスポーツの聖地など、若い人がたくさんこの街に来てくれるとよいと思う。
- 事務局 景観については、再開発準備組合と市民の皆様の意見も踏まえて、検討する。情報化への対応については、現在、市において福島駅西口・東口の駅前広場でwi-fiが使えるように設置を進めているところである。再開発ビル自体は、6年以上先の供用開始になり、将来の技術革新が読めない部分もあるが、情報がどこでも受け取れ、また発信できるようなことを意識して、施設計画を進めていきたい。
- 委員 6年後に完成となり、その後、施設を使い続けるので、経済情勢や価値観も変わっていくと思う。事務局においてこれまで関係団体へのヒアリングを行っており、参考になる意見がたくさんあり、本基本計画に反映されたと思う。今後も、様々な人からヒアリングをして、将来的な見通しを立てたうえで、設計や管理運営計画に反映されることを望む。
- 委員長 本日も様々なご意見をいただいたが、最終的に市の基本計画として公表する際には、より良いものとしていただき、本委員会における議論としては、今回提示された基本計画に加え、議事録を添付するものとし、委員会として締めくりたいと思うが、いかがか。
- 一同 委員一同了承。
- 事務局 本日いただいたご助言については、基本計画に反映できるよう検討させていただく。今後は、市議会等の意見も含めて調整し、3月中に正式な基本計画として決定する予定である。なお、基本計画の最終的な構成については、本編に加えて、資料編を作成し、これら最終版については完成後に各委員の皆様へ送付させていただくのでよろしくお願いする。
- 委員長 来年度からは、この基本計画を踏まえて、設計や事業計画に進んでいくことになる。今後も様々な見地からご意見をいただければと思う。委員会を閉じるにあたり、これまでの皆様のご協力に感謝申し上げる。